

# 仏事コーディネーター 資格取得者を訪ねて

## BUTSUJI-COORDINATOR

中原三法堂（岡山県倉敷市）

仏事コーディネーターとして  
よりの確なアドバイスをお客様に

### 福山直樹氏 木口義浩氏

今回の仏事コーディネーター資格者の取材で訪れたのは中原三法堂（倉敷）。中原三法堂は岡山県・広島県で十八店舗を展開し、仏壇仏具の他、寺院仏具・墓石・霊園の販売を行っている。

岡山浜店店長の福山直樹氏は昭和五十六年に佐賀県神埼で生まれ、その後下関に移り、岡山で就職をした。

中原三法堂に入社した



中原三法堂岡山浜店長 福山直樹氏  
平成 24 年合格  
「お客様に的確適切な説明を心がけたい」

当初は配送担当で、営業担当が注文をとってきた

仏壇仏具等をお客様に届ける仕事をしていた。実際にお客様のお宅にお伺いすると、とても良い仏壇を飾ってお宅が多くなりちょっと驚きがあった。

配送担当を一年半経験した後、営業担当に。大切な方を亡くされた方がお宅に訪問するのだが、最初は勉強不足もありお客様との十分なコミュニケーション

ケーションが取れないことも多かった。

「難しかったのは、お客様にどれくらい突っ込んだ話をお聞きできるかということでした。大切な方への想いを含めて自然とお話頂けるようになるには、時間がかかりましたね」と福山氏は振り返る。

最初にお客様に販売したのは小型の台付箱壇。購入されたお客様はとも喜んで下さり、「あな

たから買って良かった」と声を掛けて下さった。

仏事コーディネーター資格試験を受けたのは平成 24 年のこと。仏事コーディネーター試験は平成 16 年にスタートしたが、当時、中原三法堂では店

長クラスから順次受験しており、「自分もそろそろ受験かな」と思っていたところに「受験するよ」という指示があった。

「何しろテキスト（仏壇仏具ガイド）が分厚くて、実際に勉強するのは大変だなと思っていました。大阪会場で受験したのですが、講義を受けたの後の試験は結構難しく合格は際どいかなと思いましたが、合格通知が来たときには嬉しかったですね」と福山氏は振り返る。

仏事コーディネーター資格を持つからは「お客様に対して曖昧ではなく、よりの確で適切な説明をするようになりまし」と福山氏は語る。

玉島店店長の木口義浩



中原三法堂岡山玉島店店長 木口義浩氏  
平成 26 年合格  
「さらに勉強してゆきたい」

氏は中原三法堂本社の近くで生まれた。生家は岡山の特産である蘭草（いぐさ）の仕事をしており、木口氏も生家の仕事に携わってきたが、平成 20 年に縁があり中原三法堂に入社した。

「中原三法堂は近所のことですから、もちろんよく知っていました。本社オープンの際には、もの凄く沢山のお客様がいらしていたことも見ており、凄いなと思っていました」と木口氏は振り返る。

「供養の仕事は変わることなく続いてゆきだろ」と腰を据えてしっかりと仕事をしたい」というのが中原三法堂入社した動機だった。

入社して配属になったのが笹沖店。最初は中原三法堂が出している『仏心』という本での勉強で、仏事の流れなどを学びながら営業に出る。「最初は断られたり、警戒されることも多かったですね。帰社した後にはしゃべり方や最初の印象の持って行き方などのア

ドバイスを店長から頂きながらの日々でした。最初にお買い上げ頂いた仏壇は「東型」と呼ばれる台付箱形のお仏壇でした。大切な方を亡くされたお宅で、お墓も一緒に購入して頂き、その時の充実感忘れられませんと入社当初の思い出を語る。

仏事コーディネーターの試験を受けたのは平成 26 年。「いざれ受験しないといけないということには分かっていましたが、実際の試験は難しかったです。正直落ちた、と思いましたが、中には「余裕じゃ」という人もいて、合格通知が来るまでは不安でしたね。ですので合格通知を手にした時には、それこそ欣喜雀跃でした。試験を通じて感じたことは、知らないこと、分からないことが多く、もっと勉強してお客様に確かな説明をしてゆかなければならぬ、ということですね」と木口氏は力強く語って下さった。